

55

Nov. 2018

- ② 特集 定例理事会及び西日本支部懇親会を開催
- ④ 特別寄稿 東京地下鉄株式会社
工務部 建築担当部長 古賀 直紹 氏
「シャッター・扉に更なる機能を求めて」
- ⑤ トピックス ZEH および次世代建材の普及に向けて
- ⑧ 新会員企業紹介コーナー
- ⑨ 第5回 会員企業紹介コーナー
- ⑪ 第2回 働き方改革は日本経済に何をもたらすのか
- ⑬ 第5回 委員会紹介コーナー

JSDA

一般社団法人/日本シャッター・ドア協会

定例理事会及び 西日本支部懇親会を開催

さる10月24日(水)午後、ホテルメルパルク大阪にて日本シャッター・ドア協会の定例理事会が開催された。夕刻には西日本を中心とした会員企業が出席し、懇親会が開催された。



第20回 定例理事会

15時より、6階「末広」において、第20回定例理事会が開催された。定例理事会では議題として、第1号議案「2018年事業及び収支の中間報告について」、第2号議案「会員の入会について」が諮られ、原案通り承認された。次に報告事項として防火設備の検査報告制度、技能検定制度について、消費者安全調査委員会におけるシャッター事故調査についての報告が行われた。



西日本支部 懇親会が開催される



懇親会の会場となった4階「ソレイユ」には西日本支部を中心とした会員ら約65名が参集し、17時の開宴とともに長野会長よりご参集いただいた皆様へのごあいさつが行われた。その後、西日本支部、岡田常任理事の乾杯の発声により歓談に移った。会は18時30分、潮崎副会長により中締めが行われ、終始和やかな雰囲気の中、西日本支部懇親会はお開きとなった。

ごあいさつ

本日はお忙しい中ご臨席いただき、誠に有難うございます。

西日本支部の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

又、6月に発生しました大阪府北部地震を始めとして、西日本豪雨、度重なる台風被害、更には、北海道胆振東部地震など、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、当協会の活動目的は「シャッター、ドア及び防火設備の性能向上と、適切な品質・安全性を確保し、健全な普及促進を図ること」でございます。

これからも協会として、社会に、そして会員企業の皆様にご貢献できる事業に取り組んでまいりたいと存じます。

協会は重点取り組みを実現させるため、国交省だけでなく、厚労省、経産省、消費者庁、警察庁等の中央官庁との折衝、交渉が増えてまいりましたが、『数の原理』が大きく影響されており、会員の増大が急務となっております。本日まで出席の会員の皆様におかれましても、会員増大のご協力を頂けますようお願い申し上げます。

本日は、西日本支部の方々への感謝の集いです。皆様におかれましては、心置きなく楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。

■ 長野 敏文会長



乾杯のご発声

■ 岡田 敏夫常任理事



中締めのごあいさつ

■ 潮崎 敏彦副会長



シャッター・扉に 更なる機能を求めて

東京地下鉄株式会社
工務部 建築担当部長
古賀 直紹 氏



今年は、地震や台風の自然災害が多く発生し日本列島に大きな被害をもたらした。台風も昨今の地球温暖化の影響なのか勢力が強大化し水害被害も大きくなっていると感じる。

このような状況の中で、内閣府の中央防災会議「大規模水害に関する専門調査会」では、国や自治体の防災対策の進め方を示す防災基本計画を策定した。また東京都では、大雨により河川が氾濫した時の浸水を想定した「洪水ハザードマップ」を公表し、災害への意識の高揚や防災設備の整備を促している。

これを受けて弊社では、地下鉄の浸水対策に取り組んでおり、地上部が浸水した場合でも出入口等の「穴」から地下空間への浸水による被害低減及び早期復旧を目的に設備の整備を行っている。具体的には、全ての出入口に設置している750mmの止水板に加え、それより浸水深度が高いと想定される場所では出入口建替と共に、今ま

で管理シャッターや管理扉であったものを、管理を兼ねた防水シャッターや縦型折戸防水扉等に変更して出入口の完全防水化を行っている。

地下鉄の出入口には地上・地下部に様々な形状や大きさの開口があり、また浸水深度により設計水圧が異なるため、その状況に合わせた浸水防止設備や工法を専門会社と協力し課題を地道に解決し製品化にこぎつけている。

昨年12月に東洋初の地下鉄（銀座線）が開業90周年を迎え、銀座線の浅草駅から神田駅の7駅のリニューアルを行った。今までにない駅づくりを目指しデザイン手法や照明計画を見直して設計を行い、より一層の快適な空間を提供するとともに、先に述べたが出入口を含めた「穴」からの浸水を防ぐために防水機能を持たせたシャッターや扉等の整備を合わせて行い、自然災害にも強い安心・安全な駅をお客様にご利用いただきたいと考える。

NEWS

保守点検専門技術者資格更新講習を開催

9月7日から10月2日まで、福岡・東京・名古屋・大阪にて「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者」資格更新講習会を開催し、計315名の方に参加いただきました。2018年度（平成30年度）4月より、防火シャッター・ドア保守点検専門技術者の資格更新要件が変更になり、放火シャッター・ドア保守点検専門技術者資格の更新（5年毎）時に更新講習を実施することになります。



賛助会員企業による 『新技術（製品）説明会』を開催

10月4日、万世橋区民会館（東京都千代田区）にて協会会員のメリット創出の一環として、賛助会員企業による商品説明会を開催しました。

当日は8社の賛助会員企業が、各社の製品や会社について紹介し、合計44名（24社）の方々にご参加いただきました。説明会の後は懇親会を開催しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



ZEHおよび次世代建材の普及に向けて

01

ZEH および次世代建材の普及に向けて 3 回にわたり解説します。

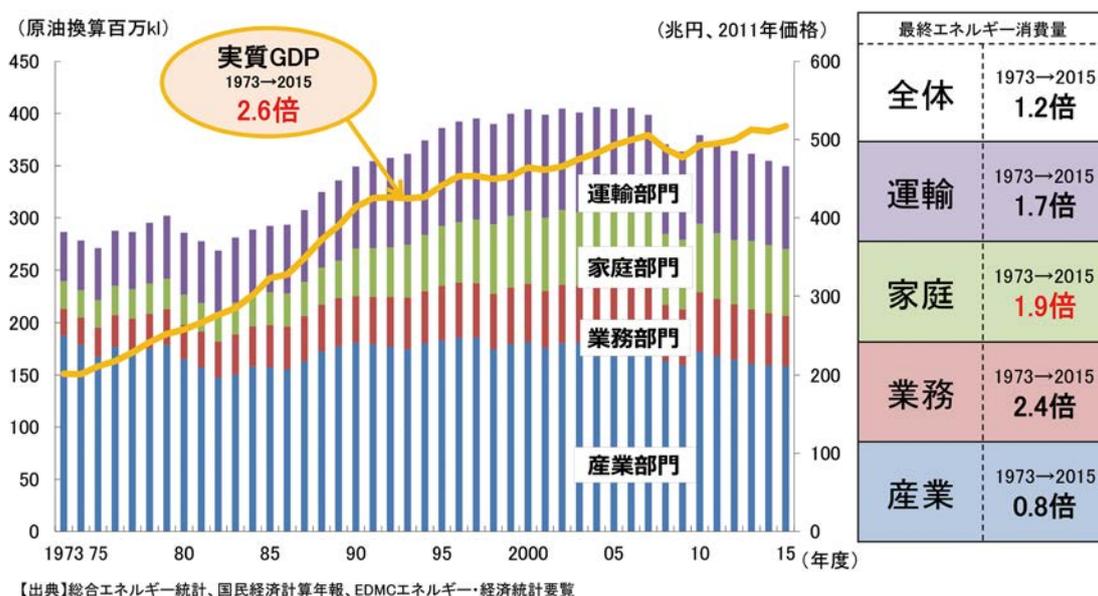
第 1 回は現状と目標、そして ZEH の普及に向けた政策の動向についてです。

※経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー課資料から引用

1. 現状と目標

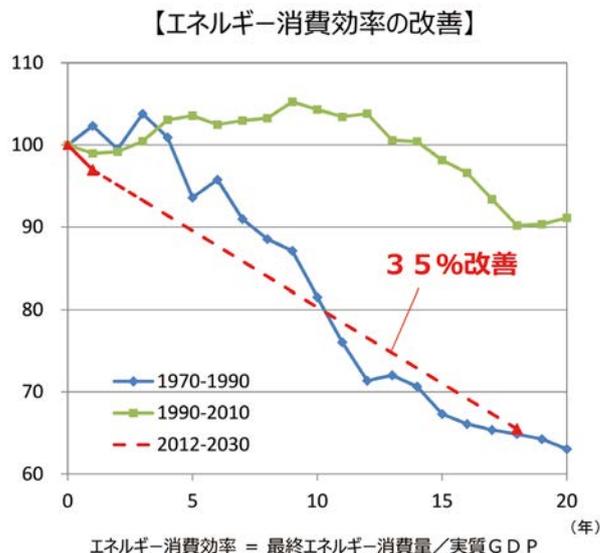
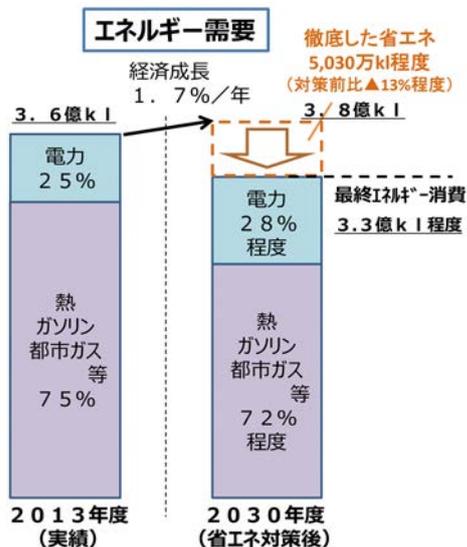
我が国の最終エネルギー消費の推移

■オイルショック以降、実質 GDP は 2.6 倍。最終エネルギー消費は 1.2 倍。



長期エネルギー需給見通し実現に必要なエネルギー消費効率の改善

■対策の積み上げにより、石油危機後並みの大幅なエネルギー消費効率の改善が必要。



長期エネルギー需給見通しにおける省エネルギー対策

■各部門における省エネルギー対策の積み上げにより、5,030万KL程度の省エネルギーを実現する。

＜各部門における主な省エネ対策＞

産業部門 <▲1,042万KL程度>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要4業種(鉄鋼、化学、セメント、紙・パルプ) ⇒ 低炭素社会実行計画の推進 ■ 工場のエネルギーマネジメントの徹底 ⇒ 製造ラインの見える化を通じたエネルギー効率の改善 ■ 革新的技術の開発・導入 ⇒ 環境調和型製鉄プロセスの導入 等 ■ 業種横断的に高効率設備を導入 ⇒ 高効率照明、高効率空調、産業ヒートポンプ、高性能ボイラ、低炭素工業炉、FEMS機器 他

業務部門 <▲1,226万KL程度>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築物の省エネ化 ⇒ 省エネ基準適合義務化、ZEB ■ BEMSによる見える化・エネルギーマネジメント ⇒ 約半数の建築物に導入 ■ 業種横断的に高効率設備を導入 ⇒ 高効率照明、高効率空調、業務用給湯器、変圧器、冷凍冷蔵庫 他

運輸部門 <▲1,607万KL程度>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 次世代自動車の普及、燃費改善 ⇒ 2台に1台が次世代自動車に ⇒ 燃料電池自動車：年間販売最大10万台以上 ■ 交通流対策・自動運転の実現

家庭部門 <▲1,160万KL程度>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 住宅の省エネ化 ⇒ 省エネ基準適合義務化、ZEH、省エネリフォーム ■ LED照明・有機ELの導入 ⇒ LED等高効率照明の普及 ■ HEMSによる見える化・エネルギーマネジメント ⇒ 全世帯に導入 ■ 国民運動の推進

住宅・建築物の徹底した省エネの推進

建築物省エネ法に基づく省エネ基準適合義務化【新築】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年までに、新築住宅・建築物について、段階的に省エネ基準への適合を義務化 (2017年度より大規模非住宅建築物の省エネ基準への適合を義務化)

住宅・ビルのゼロ・エネルギー化の推進【新築/既築】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年までに、ハウスメーカー、工務店等による新築注文戸建住宅の過半数をZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化 ■ 2020年までに、新築公共建築物等でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を実現 → 補助金等による実証/導入支援

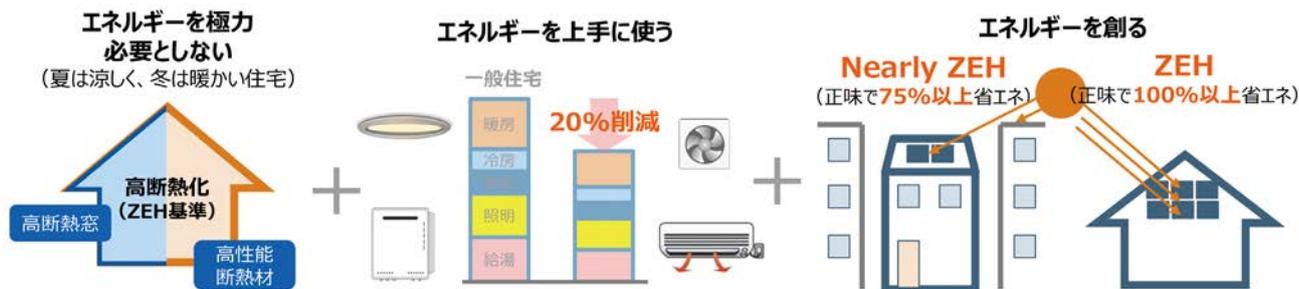
建材へのトップランナー制度導入・拡大【新築/既築】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 2013年度より建材トップランナー制度を導入 (ロックウール断熱材、グラスウール断熱材、押出法ポリスチレンフォーム、サッシ、複層ガラス) ■ 2017年度より硬質ウレタンフォーム(現場吹付け品)に準建材トップランナー制度を導入

省エネリノベーションの推進【既築】
<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年までに、省エネリノベーションを倍増 ■ 将来的には既築住宅のZEH化も推進 → 補助金等による導入支援

2.ZEHの普及に向けた政策の動向①

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)

■ 2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の実現を目指す。(エネルギー基本計画)



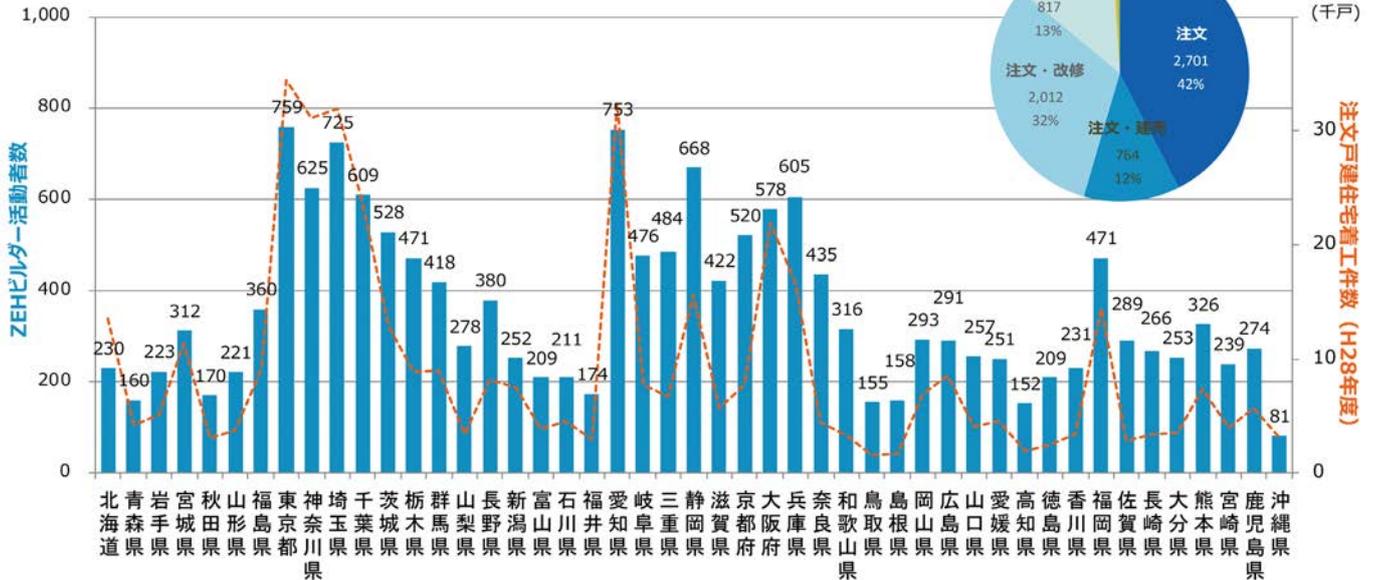
ZEHロードマップ		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国	定義の確立	定義確立	(必要に応じて)定義の見直し				
	事業者の補助	建築補助	(必要に応じて)限定的な延長				
	技術者の育成	中小工務店等のノウハウ確立	ノウハウ確立状況を踏まえ終了時期を見極め				
	広報	ZEH広報/ブランド化					
民間事業者・業界団体	技術開発	ZEHの標準仕様化					
	目標の設定	自主的な行動計画等に基づくデータ収集・進捗管理・定期報告					
目標	ZEHの普及	ZEHの自立的普及/ 新築戸建住宅の過半数をZEH化					

ZEHビルダー登録制度

- ZEH ロードマップに基づき、民間事業者による ZEH 普及に係る自主目標管理を促すため 2016 年度（平成 28 年度）に開始
- 2017 年度末時点で 6,303 社が登録

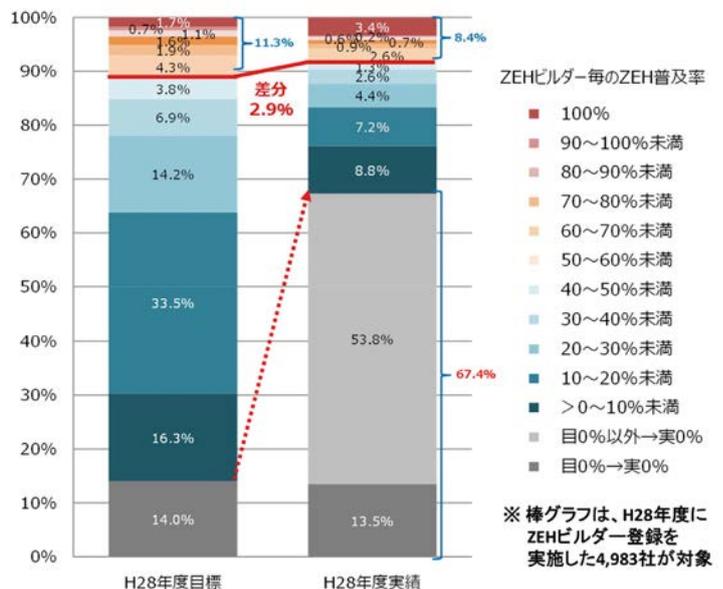
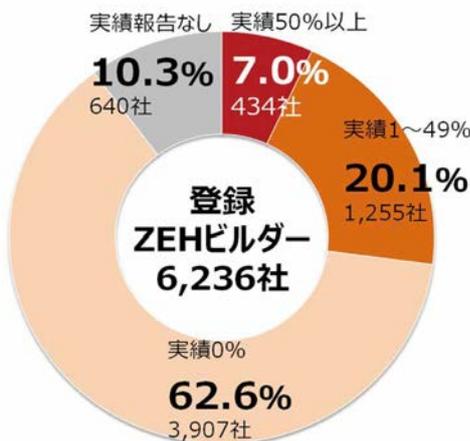


ZEHビルダー登録種別



ZEHビルダーによる平成 28 年度供給実績

	合計	注文住宅	建売住宅	既存改修
『ZEH』	25,409	24,843	526	40
Nearly ZEH	10,145	9,630	341	174
ZEHシリーズ計	35,554	34,473	867	214



※ 棒グラフは、H28年度に ZEHビルダー登録を実施した4,983社が対象

井上鐵工株式会社

所在地：北海道石狩郡当別町獅子内 3244 番地 1

事業内容：建築用金属製品の製造を主業務としており、商業店舗やマンション、病院等の大型施設へスチールドアを中心に窓、サッシ、間仕切壁、外柵等を製造。

● 当社の強み

創業大正 15 年と業歴は長く、大手サッシメーカーを中心に安定的に製品を供給し、高い信頼を得ているとともに、受注生産量も道内トップクラスを誇る。時代に求められる豊富な知識と長い歴史が物語る実績をもとに、多様化する顧客のニーズに応える高い技術を持ち、品質管理面でも公的機関から高い信認を得ている。

● JSDA に期待すること

全国的な業界の動向や鋼製建具に適用される諸法令の変革に適切に対応した情報提供は勿論、「自主基準」やマニュアルの活用策、そして重大事故の未然防止を目的とした体制整備の推進を図る等、変化する社会の新しいニーズに対応した指針に沿った取り組み。



代表取締役
西村 政美氏



▲本社外観

東工株式会社

所在地：福井県あわら市古屋石塚第 22 号 111-1

事業内容：鋼製建具 設計・製作・施工・販売
アルミ製建具・ステンレス製建具 設計・施工・販売
各種金属建材商品販売 精密板金加工・製作

● 当社の強み

お客様のニーズに合わせた設計から製作、施工、メンテナンスまで責任を持って行っております。今後最新の設備を導入し、生産・品質向上に努め社会に貢献したいと考えております。

● JSDA に期待すること

会員間の情報、意見交換の場をより多く設けて頂きましてレベルアップして行きたいと思っております。



代表取締役社長
辰宮 功造氏



▲本社外観



▲工場

林工業株式会社

所在地：新潟県新潟市江南区木津工業団地 1-20
事業内容：鋼製建具の製造

● 当社の強み

鋼製建具の製造を約 50 年行ってきた経験をもとに一般 SD から防音建具、防火扉、特殊扉とあらゆる鋼製建具の製造を行っています。ISO9001 を認証取得し品質向上を目指し社員一同日々作業に従事しています。「なんでも作る会社、断らない会社」をモットーに高難易度建具の製造をこれからも進めて参ります。

● JSDA に期待すること

業界の建具の現状、今後の動向（国内、海外）、課題などについての情報提供を期待しています。

● 地元のオススメスポット

当社から車で 5 分位にある【北方文化博物館】

越後の豪農、伊藤家の建物は建築に興味ある方なら一度行ってみたいはでしょうか？



▲北方文化博物館



▲工場



▲製品



▲本社外観



代表取締役社長
桐生 克幸氏

ナブコドア株式会社

所在地：大阪市西区西本町 1-12-22
事業内容：各種自動ドア、金属製・ガラス製建具、
建物用防災システムの販売ならびにこれら製品の保守・修理業務

● 当社の強み

当社は、自動ドアのリーディングカンパニーであるナブコグループの西日本地区会社として、自動ドアの誕生から今日まで培ってきた技術とサービスを提供してまいりました。昨年販売した JIS 規格対応商品 NATRUS (VS シリーズ) でお客様に更なる「安全・安心・快適」を提供してまいります。

● JSDA に期待すること

自動ドアの JIS 対応の普及におきましては、装置のみではなく建具の構造や、ガードスクリーン、防護柵、安全ガラスの採用など広く JSDA 会員皆様のご協力があってこそ、ユーザーの皆様に安全を提供できるものです。どうぞご尽力頂きますようお願いいたします。

● 地元のオススメスポット

常夜燈曾根崎店。おでんがおいしいお店です。京都が地理的に近いこともあり、京野菜のタネも豊富です。関西のうす味で煮込まれたおでんは日本酒にとても合います。冬場はおすすめのお店です。要予約です。



▲常夜燈曾根崎店



▲製品写真①



▲製品写真②



▲本社ビル



代表取締役社長
犬飼 伸幸氏

横引シャッター株式会社

所在地：東京都足立区綾瀬 6-31-5

事業内容：駅の売店でお馴染みの横に引くシャッター、水平、水平垂直など特殊シャッターの専門メーカー。

オーダーメイドにこだわり、設計から製造・施工まで一貫した製品づくりを行っています。



代表取締役
市川 慎次郎 氏

● 当社の強み

「上吊式横引きシャッター」を考案し特許を取得。安全性・防犯性に加え、機能性、快適性、デザイン性、そして社会性全ての要素を兼ね備え、お客様の具体的なご要望をカタチにしています。電動にも対応し、後付け施工も可能。これから先も職人の発想力と確かな技術で、「お客様の満足」をどこまでも追及してまいります。

● JSDA に期待すること

会員同士の交流の場の提供、協業の推進

● 地元のオススメスポット

「ステーキ The 高橋」住宅街の中にひっそりと佇み、「御馳走気分」を味わわせてくれるお店です。目の前の鉄板から漂う香りが食欲増進。



▲製品写真①



▲製品写真②



▲本社



▲ステーキ The 高橋

ズームアップ

シャッター製造を支える生涯現役、90歳の社員

横引シャッターの社員として働く平久守さん。なんと年齢は今年で90歳。「死ぬまで続けたい」と意気込む平久さんにお話を伺った。



▲横引シャッター 平久 守氏

もともとハサミや溶接などを扱う工場を経営していたが、後継者がおらず77歳で会社を豊んだ。しかし78歳のときに再び働きたいと思い、横引シャッターに入社し、今年で勤続13年目。現在は、同社の主力製品である横引きのシャッターに使われる滑車を製造している。軸に車輪を通し、固定する。一見とても単純な作業ではあるが、この作業が上手くできていないとガタツキが生じ、シャッターが動かなくなってしまうため、極めて重要な作業だ。長年のものづくりの経験が活かしている。

平久さんは毎朝自転車で片道30分を駆け出勤する。会社側から雨の日は休むようにいわれているが、多少の雨では出勤してしまうそう。「趣味は仕事。家にいるより会社にいたい」と笑顔で答える平久さん。仕事を楽しんでいるのが伝わってきた。

仕事を長く続ける秘訣を伺うと、「自分は50歳だと思うこと。50歳で年齢を止めるんです」とさすがのご回答。「飽きてしまうのはしょうがないが、根気良く続ければ好きになる。今後の目標は、死ぬまで仕事を続けること。生涯現役です」と力強く話してくれた。

働き方改革は日本経済に何をもたらすのか

近年さまざまな場面で耳にすることが多くなった「働き方改革」というワード。「働き方改革」とはどういった取り組みなのか、そして今後の日本経済にもたらす影響について前号に引き続き解説します。第2回は「働き方改革実行計画」や「同一労働同一賃金」などについてです。 ※厚生労働省 加藤勝信氏の資料から引用

働き方改革実行計画 (平成 29 年 3 月 28 日働き方改革実現会議決定)

1. 働く人の視点に立った働き方改革の意義

2. 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善

3. 賃金引上げと労働生産性向上

4. 罰則付き時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正

5. 柔軟な働き方がしやすい環境整備

6. 女性・若者の人材育成など活躍しやすい環境整備

7. 病気の治療と仕事の両立

8. 子育て・介護等と仕事の両立、障害者の就労

9. 雇用吸収力、付加価値の高い産業への転職・再就職支援

10. 誰にでもチャンスのある教育環境の整備

11. 高齢者の就業促進

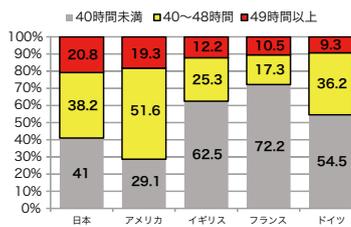
12. 外国人材の受入れ

13. 10年先の未来を見据えたロードマップ

時間外労働の上限規制の在り方など長時間労働の是正

週 49 時間以上働いている労働者の割合は、欧州諸国では 1 割であるが、わが国では 2 割。

長時間労働者の構成比 (週当たりの労働時間)



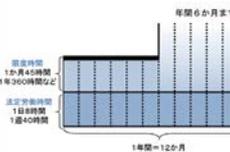
(資料出所) 労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2017」ILO「ILOSTAT Database」

<注>
※長時間労働者の構成比については、2016年の各国の就業者一人当たりの週労働時間を示す(アメリカは2013年、日本は2015年)。データは、ILO「ILOSTAT Database」による。

【現行】

○時間外労働の限度時間
大臣告示で、限度時間を定めている。
(法的拘束力なし)

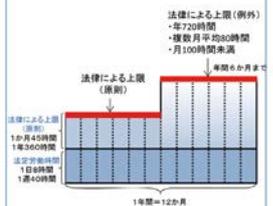
(大臣告示)
○1か月45時間、1年360時間、1年特別事項(注)を超過することがある。(有期6か月まで)
※特別事項には、上限時間の規定なし。



○休日労働の限度時間
定めなし。
(※銀行の大臣告示は、「時間外労働」のみが対象であり、「休日労働」させる場合の労働時間は対象としない。)

【改革後】

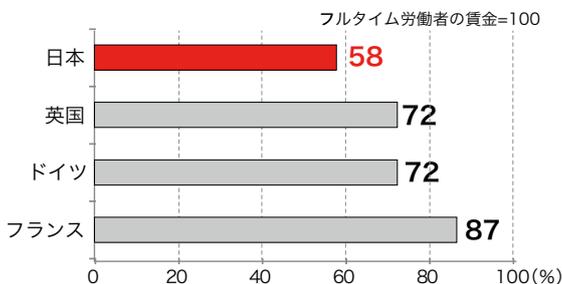
時間外労働の上限時間を法定化する。
(法律)
○原則：月45時間、年360時間
○例外(特別事項)：年720時間、月100時間未満、複数月平均80時間
※特別事項は年6か月まで



○「月100時間未満、複数月平均80時間」の上限について、休日労働の時間数を含むものとする。

同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善

パートタイム労働者とフルタイム労働者間に欧州諸国と比べて大きな賃金格差



(資料出所)
独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2018」
日本：厚生労働省(2018.2)「平成29年賃金構造基本統計調査」
イギリス：Office for National Statistics(2017.10) 2017 Annual Survey of Hours and Earnings-Provisional Results
イギリスを除く欧州：Eurostat Database「Structure of earnings survey 2014」2017年11月現在

- 平成 28 年 12 月 20 日の第 5 回働き方改革実現会議において、政府から同一労働同一賃金ガイドライン案を提示。
- 本ガイドライン案は、正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間で、いかなる待遇差が不合理なものであり、いかなる待遇差は不合理なものでないかを示した。関係者の意見や改正法案についての国会審議を踏まえて、法案成立後に最終的に確定する。
- 平成 30 年 4 月 6 日、①不合理な待遇差を解消するための規定の整備、②労働者に対する待遇に関する説明義務の強化、③行政による履行確保措置及び裁判外紛争解決手続(行政ADR)の整備等を内容とする法案を国会に提出した。

わが国の全雇用者の約 4 割は非正規雇用。うち約半数がパート。

・非正規雇用労働者(2017年):2,036万人 →全雇用者の37.3%
(内訳)パート:49.0%、アルバイト:20.5%、契約社員:14.3%など

非正規雇用労働者の割合(2017年、男女別・年齢別)

	25-34 歳	35-44 歳	45-54 歳	55-64 歳
男性	15.3%	9.2%	8.7%	30.3%
女性	38.9%	52.5%	58.6%	67.6%

(資料出所) 総務省「労働力調査(詳細集計)」(平成29年平均)第II-1表

35歳以上の女性は、結婚や子育てを理由に、自ら非正規雇用を選択する率が高い傾向

不本意非正規の割合(2017年平均):273万人
→非正規労働者全体の14.3%

	25-34 歳	35-44 歳	45-54 歳	55-64 歳
男性	35.8%	35.0%	40.7%	24.8%
女性	16.4%	10.3%	11.3%	9.7%

(資料出所) 総務省「労働力調査(詳細集計)」(平成29年平均)第II-16表

「高度プロフェッショナル制」の創設について

制度概要：時間ではなく成果で評価される働き方を希望する方のニーズ等に応えるため、職務の範囲が明確で高年収の労働者が、高度の専門的知識を必要とする等の業務に従事する場合に、年間104日の休日を確実に取得させる等の健康確保措置を講じること、本人の同意、労使委員会の決議等を要件として、労働時間、休日、深夜の割増賃金等の規定を適用除外とする制度。

1. 対象業務、対象労働者

(1) 対象業務は高度専門業務のみ

「高度の専門的知識等を必要とする」とともに「従事した時間と従事して得た成果との関連性が通常高くないと認められる」という性質の範囲内で省令で規定する業務（時間ではなく成果で評価される業務）

⇒金融商品の開発業務、金融商品のディーリング業務、アナリストの業務、コンサルタントの業務、研究開発業務等を想定

(2) 対象者は希望する高所得の労働者のみ

- ・職務を明確に定める「職務記述書」等により同意している労働者
- ・1年間に支払われると見込まれる賃金の額が、「労働者の平均給与額の3倍」を「相当程度上回る水準」以上の労働者…具体額は「1075万円」を想定

※給与所得者のうち、年収1000万円超の労働者は、管理職を含めても2.9%

2. 健康確保措置等

- ・年間104日以上、かつ、4週4日以上の日確保措置を義務化（※）
 - ・加えて、①インターバル措置（終業時刻から始業時刻までの間に一定時間以上を確保する措置）、②1月又は3月の健康管理時間の上限措置、③2週間連続の休日、④臨時の健康診断のいずれかの措置の実施を義務化（※）。その他、省令で定める事項のうちから労使で定めた措置を実施。
 - ・使用者は、客観的な方法等により在社時間等の時間である「健康管理時間」を把握し、その健康管理時間が一定時間を超えた者に対して、医師による面接指導を実施。
- （※）27年法案の内容について、労働政策審議会の議論を踏まえ、健康確保措置を強化する修正を行ったもの。

3. 制度導入手続

- ・職務記述書等に署名等する形で職務の内容及び制度適用についての本人の同意を得る
- ・導入する事業場の委員会で、対象業務・対象労働者をはじめとした上記の各事項等を決議

（単位：ドル）

1人あたりのGDP 国別比較

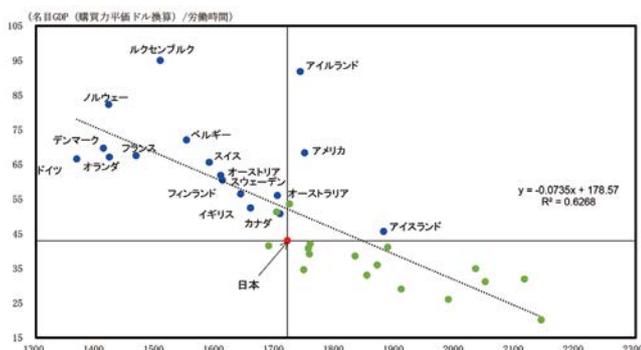
順位	国名	一人あたりGDP
1	カタール	124,529
2	ルクセンブルグ	111,629
3	マカオ	106,374
4	シンガポール	93,905
5	ブルネイ・ダルサラーム	78,196
6	アイルランド	75,538
7	ノルウェー	71,831
8	アラブ首長国連邦	67,741
9	クウェート	66,163
10	スイス	61,422
11	香港	61,393
12	米国	59,501
13	サンマリノ	59,466
14	サウジアラビア	54,777
15	オランダ	53,635

順位	国名	一人あたりGDP
16	アイスランド	51,842
17	スウェーデン	51,475
18	ドイツ	50,425
19	オーストラリア	50,334
20	台湾	50,294
21	デンマーク	49,883
22	オーストリア	49,869
23	バーレーン	48,505
24	カナダ	48,265
25	ベルギー	46,553
26	オマーン	45,157
27	フィンランド	44,333
28	英国	44,118
29	フランス	43,761
30	日本	42,832

※購買力平価による調整前（資料出所）IMF DATA2017年

我が国の労働生産性と総労働時間

- ・国際比較では、一人当たり総労働時間と時間当たり労働生産性には負の相関関係がある
- ・我が国より一人当たりのGDPの多い国（青い丸で表示）の多くは、一人当たり総労働時間が短い。



労働時間当たりの名目GDP（米ドル）	
アメリカ	68.3
フランス	67.6
ドイツ	66.6
イタリア	53.6
イギリス	52.4
日本	43.0

（備考）1. OECD.Statにより作成
2. 2015年の値
3. 青丸は一人当たり名目GDP（購買力平価 [Current PPP] ドル換算が日本より大きい国）

第5回 委員会紹介コーナー

JSDAの委員会は何をしているか、皆さんご存知ですか？業界の明日のために頑張っているのです！各委員会の活動を委員の皆さんのコメントとともに紹介します。

ドア技術委員会

諸留 充委員長より（東洋シャッター）

◆活動意義について… ドア製品に関して、品質・安全性の向上や標準化を中心に活動を行っています。その中で、関係省庁や関係団体と協議し、法規・仕様・環境等に関する基準作りや問題解決を進めています。これらを進めることで、安全なドア製品の普及と発展に貢献できればと考えています。

◆今年度の目標… 鋼製建具・鋼製軽量建具の技術標準」の整備では、施工基準の追加、関連法規の修正を行い完成することを目標としています。また、現場の声から、さび止め塗料JPMS28のチョーキング現象やドア漏水への対応をテーマに活動しています。その他、鋼製ドア関係会員様向けとして、情報交換研修会の大阪開催を計画しています。

◆委員長のコメント… 「鋼製建具・鋼製軽量建具の技術標準」は、ドアに関する仕様、構造、設計、施工、点検、法規等の全般を示した業界初の基準書となりますので、完成の際は会員の皆様に広く利用していただければと思います。また、今年度の計画を推進できるように、各委員、関連委員会と協力して取り組んでいきたいと思っています。

各社委員の皆様より（五十音順）

黒川貴光（田中サッシュ工業）

◆当委員会では、鋼製ドアについて JSDA 統一の技術指針となる技術標準の作成を進めています。また、関連団体と共に諸問題解決に向け協議するなど製品の健全な普及促進を図るため活動しております。今後も業界の発展、製品の品質、安全性の向上に貢献できるよう頑張っております。

田中 一三（BX 鐵矢）

◆ドア製品の安全、品質向上について、協会として皆様にお伝え出来るようにドア技術委員会の一員として取り組みます。



中島 伸一（LIXIL 鈴木シャッター）

◆お客様のニーズに応えるドア製品の安全・品質向上を目指して取り組んでまいります。

服部 雅彦（日本フネン）

◆ドア技術委員会へは、今年4月から参加しています。また、来年度はドア技術委員会の委員長を務めさせて頂く予定となっております。他の委員の方に比べてまだまだ知識も乏しいですが、勉強しながら前任者以上に頑張っていきたいと思っています。

廣島 光彰（文化シャッター）

◆ドア技術委員会では、ドア製品の技術標準作成や業界で抱えている課題について情報を共有し、各委員並びに関係団体と協力しながら課題解決に向けた活動を行っております。これからも皆様に貢献出来るよう努力してまいります。

若松 勇司（三和シャッター工業）

◆毎日ほとんど意識することなく開け閉めされているドア製品が、より一層安心・快適にご使用いただけるよう、ドア技術委員会の一員として尽力してまいります。

NEWS

第1回 浸水防止用設備委員会 報告会を開催

9月5日、東京にて浸水防止用設備委員会の報告会を開催しました。当日は38名（20社）の方々にご参加いただき、当協会浸水防止用設備委員会にて現在検討が行われているJIS化に向けての取り組み状況の報告、今後の浸水防止用設備委員会を運営するにあたり会員企業各位からご意見、ご要望をお伺いしました。



寄稿 旅行記

今すぐ行きたい！
旅行の思い出を紹介！

ハワイ島

キラウエア噴火で少し躊躇しながらもハワイ島へ行ってきました。めずすは国立天文台すばる望遠鏡です。標高 4200m マウナケア山頂で各国 11 基と競い、19 年にわたる宇宙観測で数多くの成果をあげています。ハワイ島は白色灯や街灯がなく、島をあげて観測に協力する世界で最も宇宙観測に適した場所です。また、雲海に沈みゆくサンセットも映画の 1 シーンのように神秘的です。雲上の大自然と望遠鏡群のメタルとの非対称は、宇宙への想いを増幅させます。下山途中の標高 3600m で天体観測に参加しました。180℃見渡せる天の川銀河、望遠鏡で覗く恒星ベガのダイヤモンドのような青白い輝き、まさに二度と見ることができない圧倒的な満天の星空は、目に焼きついて生涯忘れる事はないでしょう。宿泊地はマウナラニリゾートです。ワイキキのようなビルも高層ホテルもショップもなく、人通りもまばら、ただ漆黒の溶岩台地と白砂のビーチに光輝く碧い海、緑の椰子とプルメリアにハイビスカスの花、潮風に揺られて過ごす数日は、最高のパッケージとなりました。
(会員企業 白川氏)



寄稿

美味しい
お店紹介

おいしそう！
手づくり和菓子ならこのお店

有限会社 亀屋大和

住 所：東京都千代田区東神田 1-14-10
電 話：03-3866-3804

神田下町に創業江戸中期より九代続く『和菓子屋』さんをご紹介します。お店に入ると数々の手作りの和菓子が目に飛び込んできます。おすすめは『団子(みたらし団子と、あん団子[草餅あん団子])』ですが、中でも一押しなのは『みたらし団子』です。店内ではあまり作り置きをせず、お客様からの注文に応じて作り立てのお団子を持ってきてくれます。お店の方の対応も良く、頻りに TV や雑誌にもお店が紹介されております。「みたらし団子:100円/本(消費税込)」で絶賛販売中です。是非お立ち寄りを！



新日鐵住金の高耐食性めっき鋼板

SuperDyma®

スーパーダイマ

JIS申請中!

環境に優しいクロメートフリー処理!!

「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」へ



新日鐵住金

薄板営業部

スーパーダイマの詳しいご案内は

スーパーダイマホームページ URL/

<http://www.nssmc.com/product/superdyma/>

お問い合わせ

E-mail

superdym@jp.nssmc.com

高耐食溶融めっき鋼板

ZAM®

とは
亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウムのめっき層を持つ新しい溶融めっき鋼板です。

製品構成

化成処理

亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウムのめっき層

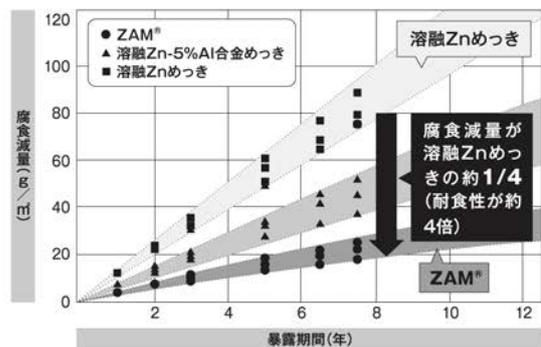
鋼板

サビに強いめっき鋼板

新日鐵住金グループ

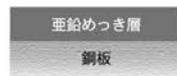
優れた耐食性

■屋外暴露試験(一般環境)



■平坦部の耐食メカニズム

溶融亜鉛めっき



酸化亜鉛主体の白錆で密着性がなく流れやすい

赤錆発生

ZAM®



Mgを含むZn-Al系保護皮膜がしっかりガード

*「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。

「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

日新製鋼株式会社

●本社 〒100-8366 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル TEL. 03-3216-5166

●大阪支社 ●名古屋支社 ●中四国支社 ●北海道支店 ●東北支店 ●新潟支店 ●北陸支店 ●四国支店 ●九州支店

伏見稲荷大社（京都府）

伏見稲荷大社は京都市伏見区にある奈良時代の和銅4年（711年）に創建された伝統ある神社です。

私たちにとって身近な神社で老若男女を問わず親しまれている「お稲荷さん」は全国に約3万社ありその総本宮が伏見稲荷大社です。特に稲荷信仰が高まったのは江戸時代（17～18世紀）のことで、この時代は経済にも活気がありました。そんな中、「五穀豊穡」の考えを商売の成功にも当てはめる風習が生まれます。稲荷神社はやがて、経営者や商人たちが訪れて商売繁盛を祈願する場となっていきました。

本殿に向かう道筋は畏怖の念がわいてきますが、本当に圧倒されるのは鳥居をくぐり広々とした中庭を前に本殿を目にしたときです。そして何よりこの大社の一番人気のスポットは本殿を抜けて稲荷山奥社へと向かう千本鳥居です。千本鳥居を抜けて稲荷山・奥社を参拝するコースは山道が整備されており、京都市内を見渡す絶景を楽しみながら山歩きが楽しめます。

近年は外国人観光客からも人気があり、2014年から「外国人に人気の日本の観光スポット」1位に4年連続で選ばれています。



JSDA 会報 2018年・秋号

発行日:2018年11月 通巻第55号

発行者:一般社団法人日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北3丁目2-5 九段北325ビル8階

tel.03-3288-1281 (代) /fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsda.or.jp>